

○事業所名	杉並区立こども発達センター		
○保護者評価実施期間	令和6年9月1日		～ 令和6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	令和6年9月1日		～ 令和6年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 31
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育場面で保育士に加え他職種(看護師、リハビリ、言語・心理)が連携を図り、お子さんの発達を支援している。	専門職が定期的にグループ活動に入り、発達の変化や環境について共に考え、一人ひとりのお子さんの課題に合わせた支援方法を工夫している。また毎月ミーティングの機会を持ち情報共有をし、今後の支援方針をアセスメントしている。	リハビリ職員による時間内個別指導の拡充を検討している。
2	保護者の声を真摯に受け止め、多様な保護者のニーズに基づき、サービス利用の改善に努めている。	親子通園日の分離対応を行うことで、保護者が通園できなくても、お子さんの療育の機会が減ることないよう対応している。兄弟の育児・保護者の用事の保障のため、療育時間を延長する取組を段階的に行っている。	保護者ニーズを受け、就労支援を含め、親子通園日の日数の軽減や分離対応、療育時間の延長、スポット保育の時間延長を実施していく。
3	子どもの主体性を尊重し、遊びを通して発達を促されるよう、インクルージョンの視点で施設での生活が楽しく快適になるような取組を行っている。	様々な活動のバリエーションを設け、子どもが楽しめる活動内容を提供している。専門講師による水療や造形療法を実施し多様な体験を提供している。専門講師から学んだことを参考に、感覚遊びや造形活動のバリエーションを広げるための新しい教材や支援方法の工夫を実際に職員間で共有できるように交換保育や合同活動を取り入れて職員の資質向上に努めている。	分離で通所する日にも室内プールを活用した取組の検討している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の社会資源を活用しお子さんの生活の幅を広げるための取組に課題が残っている。(保育園や子供園との交流の機会など)	バスを2便制で運行しているため、バスが園に戻る時間を考慮すると交流時間が短時間となっている。また、交流園の事情も様々で、回数には限りがある状況である。	インクルーシブの視点から、交流園と交流の意義を再確認する機会を設ける。 地域の公園で遊ぶ経験も連携して実施するなど自然な交流へとつなげていく。 バスが1便運行となるため、交流時間の延長を検討していく。
2	新規で利用開始するまでの時間や手続きの見直しが必要である。	業務効率やサービス向上に向けて、各種のアセスメントシートや情報収集の方法や質問事項の見直しを行い効率的に行う取組をする。	対面の面談で聞き取っていた内容をオンライン上で効率化することや、質問事項の重複を避けるための見直しを行い利用の手続きをスピーディに行う工夫を検討して取り組む。
3	保護者同士の交流の機会や兄弟の支援について、不足している状況がある。	専門相談として別日に対面やオンライン面談を進めてきたが、保護者は別日の来所・オンライン面談には消極的であった。親子日の分離対応をすることで利便性は上がったが、保護者同士の交流の機会は減っている。	親子通園日、保護者会の内容を見直し交流が進む取組をする。また兄弟支援については検討が必要である。 専門相談や医療相談を申込みやすいようにオンラインで申し込めるように改善した。

事業所名 杉並区立こども発達センター

公表日 令和7年 4月 3日

利用児童数 令和6年 9月 1日 回収数 38/50

	チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33 (87%)	5 (13%)	0	0	プレイルームが狭いと感ずることがある。	混みあわないよう入れ替え制で遊ぶことや、定期的に遊具の配置を見直し、安全に活動できるように配慮します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	34 (89%)	4 (11%)	0	0	配置数は適切であるが、職員体制の都合により散歩の活動が変更になることがある。	毎月活動の計画を立てる際に各グループで園外活動が重ならないように調整し、職員体制を確保します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32 (84%)	5 (13%)	0	1 (3%)		バーテーションで空間を区切る等、お子さんにとってわかりやすい生活空間になるよう環境を調整します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28 (74%)	8 (21%)	1 (2.5%)	1 (2.5%)	年数経過により、壁の汚れ、排水溝の汚れがきになり清潔感に欠けるように感ずる。玩具が古い。	定期的に清掃を行い、お子さんの発達に合った玩具の点検・入れ替えに努めます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30 (79%)	5 (13%)	0	3 (8%)	子どもに合った取り組みかがわからない。	保護者の方へ取り組みのねらいや関わり方の配慮点についてわかりやすく説明するよう努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28 (74%)	5 (13%)	0	5 (13%)	どういものかわからない	お子さんの発達段階に合わせて目標を設定し、達成できた事柄を丁寧に説明します。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35 (92%)	3 (8%)	0	0	なんとなく全員一緒のような…	保護者の方からニーズを聞き取り、支援方針を明確にして計画を作成し、お子さんの生活全般の支援についてより具体的な説明に努めます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28 (74%)	5 (13%)	1 (2%)	4 (11%)		支援内容について、具体的にわかりやすく説明するよう努めます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32 (84%)	4 (11%)	1 (2.5%)	1 (2.5%)	幼稚園とリハビリの情報共有があり、双方からの働きかけがある	引き続き、保護者の方に発達課題に合わせた支援目標、取り組みを半期ごとにお伝えします。所属園のあるお子さんは計画を通じて連携します。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33 (87%)	4 (11%)	1 (2%)	0	自宅ではできない思いきり子供が楽しめる活動も組み込まれている。	引き続き、造形療法やお子さんが意欲的に取り組めるプログラムを工夫します。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	20 (53%)	2 (5%)	10 (26%)	6 (16%)	年に1、2回ほどなのでもう少し増えると良いと思います。	回数・時間・内容について検討し、経験を増やしていけるように努めます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35 (92%)	2 (5%)	1 (3%)	0		たんぼぼ園利用契約時に、保護者の方へ文書と口頭で丁寧な説明を継続します。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36 (95%)	0	1 (2.5%)	1 (2.5%)		対面のほかオンラインなどを利用して保護者のご都合に合わせた方法で面談を実施します。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27 (71%)	2 (5.5%)	2 (5.5%)	7 (18%)	ペアレントトレーニングについてはわからない	保護者のニーズに合わせて、さまざまな形で保護者の方への情報提供ができるよう、工夫します。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	36 (95%)	1 (2.5%)	0	1 (2.5%)		連絡帳や親子通園日、電話連絡を通して、日々のお子さんの状況について共有できるよう努めます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32 (84%)	4 (11%)	0	0		グループ担当職員と各専門職員が連携を図り、ご家庭での対応について助言できるよう、面談や専門相談の機会を設けます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32 (84%)	4 (11%)	0	2 (5%)	やはり発達に遅れのある子の母にしかわからない気持ちはあるのだと感じることもある。	保護者のお気持ちに寄り添えるように職員間で情報共有しながら多面的に関わり共感していくことに努めます。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	25 (66%)	2 (5%)	3 (8%)	8 (21%)	家族交流会はあるが、子供の状況も違う為色々話したりするのは難しいし、障害児のいる兄弟に対してのフォローは親でも難しく、毎日悩む。きょうだい同士で話したことはないと思う	次年度は子どもの状況はそれぞれ違うことを念頭に悩みを共有できる機会を工夫して設けていきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21 (71%)	4 (11%)	0	7 (18%)		たんぼぼ園利用契約の際に、保護者の方への丁寧な説明を継続していきます。また、グループ担当者から投げかけを積極的に行い保護者の方からの希望に応じられるよう努めます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33 (87%)	2 (5%)	0	3 (8%)	出欠席やバスでの通園、一時預かりなどの予定を変更した時など、連絡をした職員の方以外と情報が共有されていない時があり、所在確認のことなので心配な時があります。	情報伝達が確実に行われるように手順を再度確認し漏れのないよう情報共有に努めます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26 (68%)	3 (8%)	0	9 (24%)		毎月のお便りを発信して丁寧な説明に努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35 (92%)	1 (3%)	0	2 (5%)	病名などの根本となる情報をどこの誰までが把握しているか、分らないです。	全職員への情報管理研修の実施や管理手順の確認を行い安全な取り扱いを徹底しています。関係職員で支援に必要な検討の際共有しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28 (74%)	3 (8%)	0	7 (18%)		リスク対策として計画を策定し、感染症防止研修や毎日の安全点検、毎月の防災訓練を今後も継続して行います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30 (79%)	2 (5%)	1 (3%)	5 (13%)	子供達はしているようです。	訓練実施の周知を引き続き行います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33 (87%)	1 (3%)	0	4 (10%)		安全に関する計画について丁寧な説明を行い、安心してご利用いただけるよう努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	33 (87%)	1 (3%)	0	4 (10%)		電話連絡や連絡帳を通じて保護者へ説明を行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	33 (87%)	1 (2.5%)	1 (2.5%)	3 (8%)	毎日行きたいくらい楽しんでいる	引き続きお子さんが安心して活動に取り組めるような環境や担当者との信頼関係をつくり支援します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	33 (87%)	2 (5%)	0	3 (8%)	毎日バスに乗るのを楽しみにしています 嫌がってバスに乗りたがらない事がないので	お子さんに楽しく意欲的にご利用いただくために一人ひとりの興味関心に合わせた取り組みが提供できるよう努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	35 (92%)	2 (5%)	0	1 (3%)	杉並区に住んでいてよかったなと感謝しています。 もう少し発語に特化したプログラムがあり、部屋が清潔でおもちゃが古くなければ満足。	引き続き、環境整備に配慮し、玩具の点検、入れ替えを行い安全な環境を提供できるよう努めます。

事業所名 杉並区立こども発達センター

公表日

令和7年 4月 3日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	25 (81%)	6 (19%)	場面や活動によって空間を仕切ったりして、子どもの活動がスムーズになるよう工夫しています。	共有部分であるプレイルームは子どもが安全に活動できるよう遊具の配置や設定を見直していきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	29 (94%)	2 (6%)	各グループの状況に応じて、職員体制を調整しています。	戸外活動では安全に行えるよう、センター全体で応援体制を組み実施します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	28 (90%)	3 (10%)	パーテーションを用いて、活動が視覚的に分かりやすくなるように、配慮しています。	お子さんの発達に合わせた環境設定について日々確認を行い、必要に応じて見直しをします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	28 (90%)	3 (10%)	グループ活動終了後には毎日遊具等の消毒を行っています。	日々室内点検を行い、清掃、補修等環境整備に努めます。また、発達状況や興味関心に合わせて、お子さんが活動しやすい環境設定を行います。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	29 (94%)	2 (6%)		クールダウンのできる空間の確保に努めます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	28 (90%)	3 (10%)	年2回職員間で検討し、共有する機会を設けています。	療育内容の見直しを適宜行い、多職種と連携し共有します。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	29 (94%)	2 (6%)		自己評価やモニタリングの機会を通してニーズを把握し、業務改善につなげます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	27 (87%)	4 (13%)	定期的に係会を設けて、各グループの様子を報告し意見交換を行っています。	係会の中で課題を共有し、様々な視点から検討し、業務改善に努めます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	28 (90%)	3 (10%)	結果を踏まえて改善策を会議で検討し、職員間で共有し改善に向けて取り組んでいます。	定期的な外部評価を行い、より良い支援につなげていきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	31 (100%)	0	年間研修計画で施設として必須の研修や実務研修を企画運営している。 ・必要であると思うが、OJTは多くなくなって業務に影響があるように思う時がある。	職員全体の研修状況を把握し、業務とのバランスを考え計画的に取り組みます。
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	29 (94%)	2 (6%)		利用しているお子さんや保護者の方に分かりやすい支援プログラムを作成します。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	30 (97%)	1 (3%)		保護者からお子さんの様子やニーズを丁寧にきき取り計画に反映し作成します。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	30 (97%)	1 (3%)		多職種と連携を図り児童発達支援計画を検討し作成します。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	29 (94%)	2 (6%)	毎回の支援後に取組みの様子を振り返り、次の支援に活かしています。	引き続き、支援後に振り返りを行い、次の支援に活かせるように共有していきます。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	28 (90%)	3 (10%)	発達検査やICF-CYの視点など発達スケジュールをもとに個別の支援を検討し確認している。	今後も日々の行動観察による個別のケースカンファをさらに充実させて支援に活かします。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	28 (94%)	3 (6%)	児童発達ガイドラインに沿って計画の書式を見直し作成しています。	

の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	28 (90%)	3 (10%)		毎月、関係職員でミーティングを行い子どもの変化に合わせてプログラムの立案を行います。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	29 (94%)	2 (6%)	季節・グループのメンバーの状況に合わせて固定化せず柔軟に工夫しています。 グループ間でよかったものを共有しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	30 (97%)	1 (3%)	年齢別や発達状況に応じて支援している。年度ごとに更新の際に見直しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	31 (100%)	0	事前に職員間で打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	30 (97%)	1 (3%)	グループ毎に支援内容を振り返り、意見交換を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	31 (100%)	0	気づきや変化を共有、今後の関わりにつながるような意見交換を行う場を設け記録している。	日々の記録を踏まえ、次回の支援や見直しに活かします。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	29 (94%)	2 (6%)	モニタリングを参考に支援方法の見直しを図るようにシステム作りをしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	28 (90%)	3 (10%)	情報を共有したりその後の対応について話し合い参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	28 (90%)	3 (10%)	関係機関連携記録を作成・報告するシステムにしています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	28 (90%)	3 (10%)	幼稚園や子供園等所属園があるお子さんに対して、所属園との電話や計画の共有等、連携しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	29 (94%)	2 (6%)	引継ぎ書及び個別支援計画の作成・持参しての共有・検討の場を設けている。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	28 (90%)	3 (10%)	施設公開で当施設の取組を紹介しています。 定期的に連絡会を開催・参加しています。	児童発達支援事業所の連絡会や研修会等を実施し、地域全体の質の向上を図ります。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	29 (94%)	2 (6%)	研修会を企画・運営及び外部研修への参加を経験年数・業務ごとに推薦し機会を設けています。	盲学校やろう学校と連携することや、スーパーバイズ研究を通して、質の向上を図ります。
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	25 (81%)	6 (19%)	今後企画・参加を予定しています。	地域の課題解決に向けて協議会子ども部会を設置します。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	31 (100%)	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	31 (100%)	0	年間で3回程度計画を立て保育園・子供園と交流を行っています。	回数や時間を可能な限り増やして継続し、子どもの経験や地域の資源の活用につなげていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	30 (97%)	1 (3%)	連絡帳を通したやりとりや、親子通園日の際に、共通理解を深めています。来所の難しい方にはオンライン面談を行っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	29 (94%)	2 (6%)	年4回、講演や参加型の研修を行っています。	家族支援の講座等の充実を図ります。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	30 (97%)	1 (3%)	契約時に対面で重要な事項など伝えていきます。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	29 (94%)	2 (6%)	対面でお話を伺う機会を設けています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	29 (94%)	1 (3%)	事前に書面をお渡しして面談を行い、修正することもあり、そのうえで同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	28 (90%)	1 (10%)	担当だけで対応せず、相談して広く支援を受けられる機関につなげています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	28 (90%)	3 (10%)	家族交流会・保護者会では共通の話題提供や楽しく過ごせる機会となるように工夫しています。	きょうだい児にも楽しんでいただけるよう家族交流会やお祭りなどの行事を企画実施しています。次年度は兄弟支援の講座を企画します。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	31 (100%)	0		相談があった際は、迅速な対応ができるよう努めます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	28 (90%)	3 (10%)	保護者のニーズを探り通信を作成しています。	引き続き、お便りの配布や、メール配信による情報提供を行います。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	31 (100%)	0	職員間で誤りがないか必ず確認しています。取扱いの手順を定めて、手順通りに管理を行っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	31 (100%)	0	将来的なことに不安を抱えているため、対面で面談をする・複数対応で面談をするなど誤解のないように工夫しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	21 (68%)	10 (32%)	療育講座に、区内の事業所に通っているお子さんに案内を配布している。できる範囲で区民向けの講座の開催やボランティア活動の受け入れを行っています。	地域住民に事業内容等を広く知っていただける取り組みを検討します。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	31 (100%)	0	年間計画を立て、月ごとに見直し、適宜検討する会議を設定しています。	マニュアルを見直し、様々な緊急事態を想定した訓練を計画的に実施します。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	31 (100%)	0	いろいろな場合を想定し、広く職員が参加できる工夫をしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	31 (100%)	0	看護師を中心に関わる職員でグループごと情報共有しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	28 (90%)	3 (10%)	職員間で共有し、適切に対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	31 (100%)	0	安全計画に取り組み始めたので研修を行い専門家からの助言を受ける機会をもち、ヒヤリハット報告から環境リスクを見直しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	29 (94%)	2 (6%)	避難訓練の予定を毎月お便りでお知らせしています。	利用開始時に契約書により丁寧に説明します。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	30 (97%)	1 (3%)	ヒヤリハットの報告で終わらないようにその後の対応や振り返りを行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	31 (100%)	0	全職員の理解が深まるように、勤務時間に合わせて複数回実施しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	30 (97%)	1 (3%)	身体拘束適正化委員会を開催し、結果、支援内容を職員に周知しています。	丁寧な支援を行うと共に、定期的に研修を行い、安心してご利用いただけるよう取り組みます。また個別支援計画に記載します。